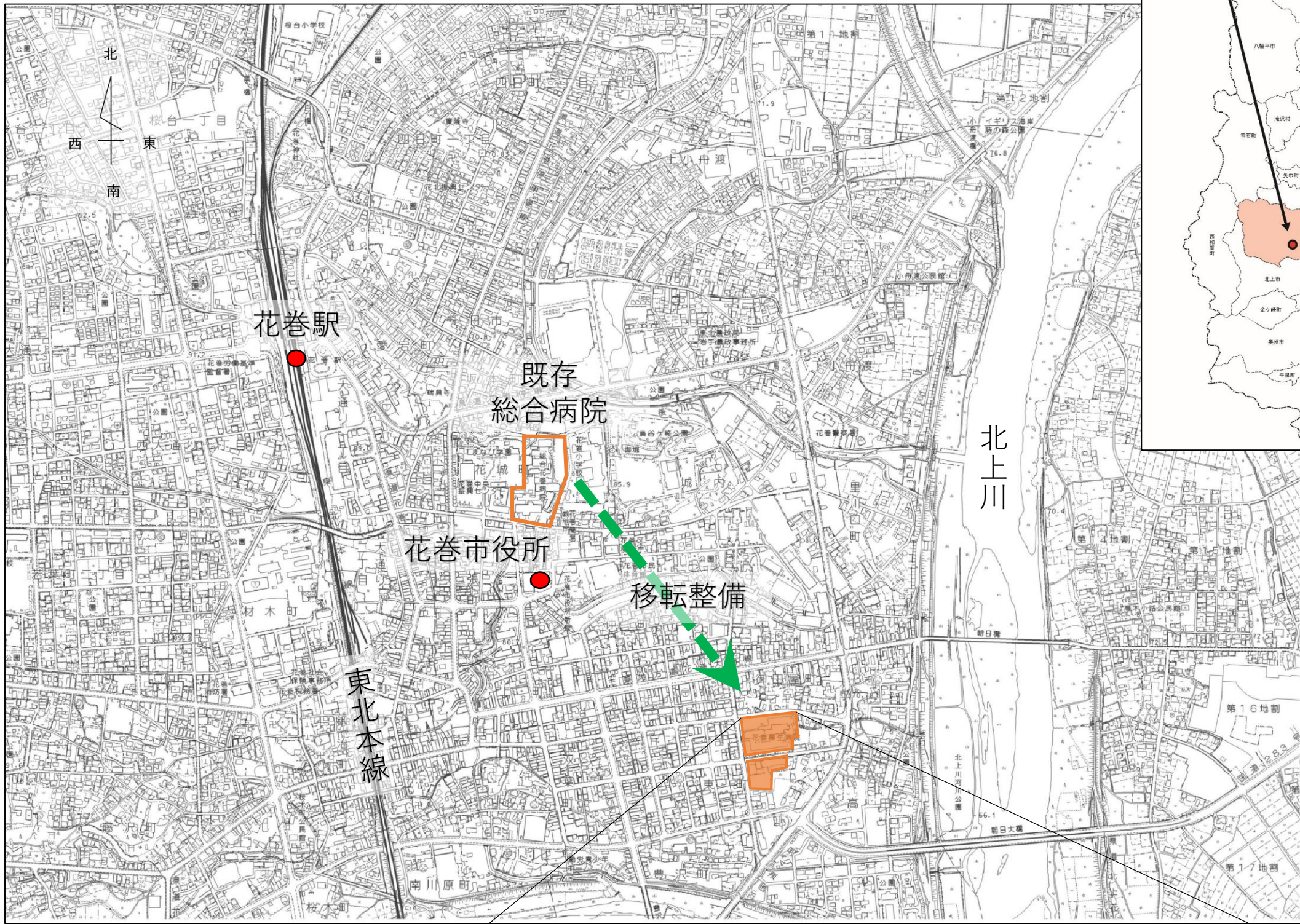
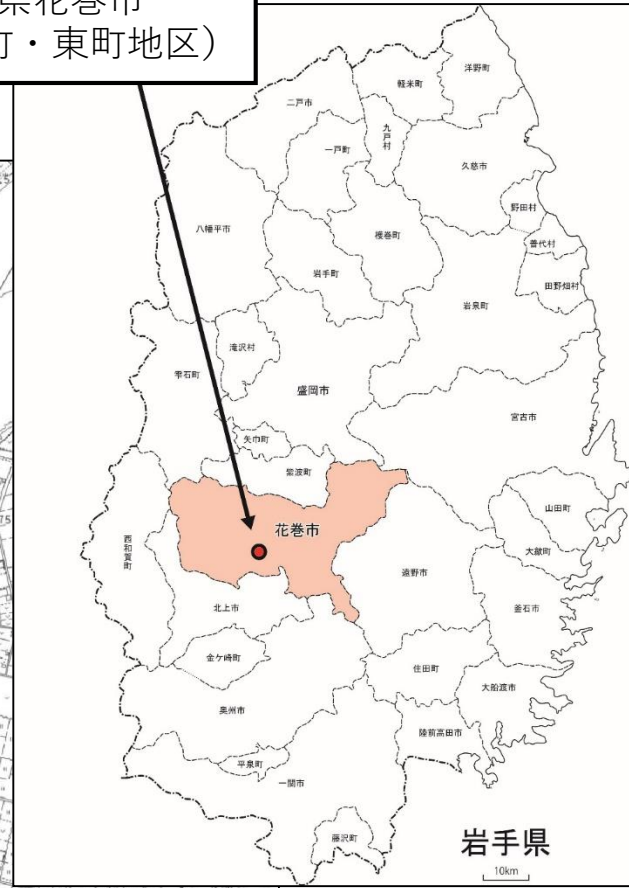


新規事業採択時評価

地区名	御田屋町・東町地区	事業主体	公益財団法人 総合花巻病院		
実施箇所	岩手県花巻市				
事業内容	総合病院、看護学校、保育園、特定生活介護施設の整備				
事業期間	採択	平成28年度	完了	平成30年度	
総事業費 (億円)	93				
必要・ 目的性	<p>&lt;課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高校、大型事業所、県立病院等が郊外へ移転し、市街地におけるにぎわいの衰退とこれに伴う各種サービス機能の低下、さらには、市街地で唯一となった総合病院の老朽化などに対する市民不安の高まりを受け、総合医療機能を「まちなか」にしっかりと確保していくことが市としての喫緊の最重要課題であると判断。</li> <li>・同時期に策定を進める立地適正化計画において病院施設等を誘導施設に位置付けた。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <p>交通利便性の高いまちなかへ総合医療機能を誘導し、同じく誘導施設に位置付けている看護学校のほか、福祉施設、保育施設を複合的に整備することで、まちなかにおけるにぎわいの創出と市民の暮らしの安心を確保する。</p>				
便益の 主な根拠	区域内施設の収益向上 周辺の地価上昇 ※便益は維持管理費等29億円を控除した額				
事業全体 の投資効 率性	基準年度		平成27年度		
	B:総便益 (億円)	144	C:総費用 (億円)	92	B/C 1.6
感度分析	全体事業 (B/C)				
	想定賃料(+10%~-10%)	1.7 ~ 1.4			
	想定稼働率(100%~-10%)	1.6 ~ 1.4			
	供用開始(-1年~+2年)	1.6 ~ 1.4			
事業の 効果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通利便性の高いまちなかへ総合医療機能を誘導し、同じく誘導施設に位置付けている看護学校のほか、福祉施設、保育施設を複合的に整備することで、まちなかにおけるにぎわいの創出と市民の暮らしの安心が確保される。</li> <li>・エリア価値の上昇による投資サイクルの発現により、空き地、空き家、空き店舗等の減少が期待される。</li> <li>・居住や都市機能の集約エリアへの施設の立地により、利用者の利便性や訪問事業等の移動効率を高め、生産性が向上される。(訪問介護のサービス提供量:1日あたり約3割増加)</li> </ul> <p>また、「歩けるまち」となることで、高齢者の医療費の削減が見込まれる。</p>				
その他					

# 事業位置図

岩手県花巻市  
(御田屋町・東町地区)



配置図

- 病院 198床
- 看護学校 定員120名
- 特定介護施設 85室
- 保育所 定員70名

完成予想図

病院  
特定介護施設  
看護学校  
保育所